

《NBS 第 57 回 21 世紀中小企業勉強会のご案内》

NBS 会員の皆様

トランプ政権の「関税政策」の影響を始め、内外の情勢が大きく流動化する中、昨 4 月 25 日に本年度の「中小企業白書・小規模企業白書」が閣議決定されました。

つきましては、毎年、6 月に実施しています当該白書に関する勉強会を、本年度もその作成責任者であります中小企業庁事業環境部調査室長の岡田 陽 様に講師をお引き受けいただき、下記の要領で開催いたします。

中小企業庁のホームページに掲載の本年度の当該白書の「概要」によりますと、本年度の白書は、

■中小企業白書・小規模企業白書 第 1 部（共通）：令和 6 年度の中小企業・小規模事業者の動向

■中小企業白書 第 2 部：新たな時代に挑む中小企業の経営力と成長戦略

■小規模企業白書 第 2 部：経営力を高める小規模事業者の持続的発展と地域貢献

の三部構成となっています。

詳しくは「勉強会」でのご講演をお待ちしたいと存じますが、NBS と致しましても事前勉強の意を含めて、勉強会当日までの間に幾分なりとも参考にさせていただける「情報」をお届けしたいと考えています。

尚、講師 岡田室長様のご経歴を下記の実施概要に記載いたしました。まさに多様、且つ実務に則した素晴らしいご経歴で、ご講演の日が待たれてなりません。

多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

NBS 「21 世紀中小企業勉強会」

理事長 観野 福太郎

(送信代行 橋本 弘毅)

《NBS 第 57 回 21 世紀中小企業勉強会 実施概要》

1. 開催日時：2025 年 6 月 5 日（木）15：00～17:00 ご講演 及び 質疑応答

2. 場所：商工会館 5 階 H 会議室（TEL. 03-3581-1634）

（地下鉄虎の門駅または霞が関駅下車、霞が関ビル裏手）

3. テーマと講師

・2025 年版 中小企業白書・小規模企業白書について（仮題）

・【講師】岡田 陽 氏（中小企業庁事業環境部調査室長）

4. 参加費：NBS 会員 無料

一般の方 1,000 円

5. 〔講師ご略歴〕

岡田 陽 氏（現 中小企業庁 事業環境部 調査室長）

・2006 年東京大学法学部卒業。同年経済産業省入省後、経済政策、通商政策、経済安全保障政策、中小企業政策等を担当

・シカゴ大学大学院留学後、2013 年から 2017 年まで内閣官房 TPP 政府対策本部総括参事官補佐として TPP 交渉や国内法整備に従事

- ・2020年まで在フランス日本国大使館一等書記官として大阪万博の誘致活動や日仏産業協力、日本企業の海外展開支援の他、データ政策やAIガバナンスの国際連携等を担当
- ・2021年まで経済産業政策局調査課総括補佐として、マクロ経済・金融情勢の分析を担当
- ・2022年まで通商政策局企画調査室長としてサプライチェーン脆弱性や対ロシア経済制裁の効果等の国際経済・通商課題を分析
- ・2022年版通商白書を策定

前職では、内閣官房新しい資本主義実現本部事務局企画官として、経済成長戦略の策定に取り組むと共に、規制のサンドボックス制度の省庁横断型チームのリーダーとして、AIやブロックチェーン、モビリティ等の新技術の社会実装に向けた規制改革を推進。

また、日本のスタートアップ・エコシステム強化に向けた政策に関する全省庁の総合調整も担当し、スタートアップの創出・育成を支援。

- ・2024年7月から中小企業庁事業環境部調査室長として、中小企業の企業行動・経済環境、中小企業政策等の分析を担当し、中小企業白書・小規模企業白書の策定等により、データドリブンな政策形成を推進。(現在に至る)

尚、2021年から経済産業研究所コンサルティングフェロー兼務。

6. 2025年版中小企業白書・小規模企業白書の方向性

(中小企業庁 ホームページ掲載文から転用)

◇円安・物価高の継続や「金利のある世界」の到来による生産・投資コスト増、構造的な人手不足など、中小企業・小規模事業者が直面する状況は依然として厳しい状況です。一方で、地域経済・日本経済全体の成長の観点からも、雇用の7割を占める中小企業・小規模事業者への期待は大きく、地域コミュニティ・経済・文化・課題解決の担い手として、地域経済基盤を維持し、地域のニーズに細やかに対応する役割も期待されています。

◇激変する環境において、中小企業・小規模事業者が課題を乗り越え、成長・持続的発展を遂げるに当たっては、経営者が、自らが置かれている状況と方向性を把握し、適切な対策を打つ力としての「経営力」が重要です。本書では、この「経営力」に焦点を当て、事例を交えつつ分析を行いました。

◎ 出欠につきましては、本メールの返信にて、NBS事務局：橋本宛に5月29日（木）までにご連絡をいただきます様、お願い申し上げます。

なお、領収書の必要な方は、領収書の宛名も併せてお知らせ願います。

【連絡先】 E-mail [hashimoto.13530.shizu.sakura@catv296.ne.jp]

以上